

## 第2編

# 地域別構想

- I 地域別構想とは
- II 地域別構想



# I 地域別構想とは

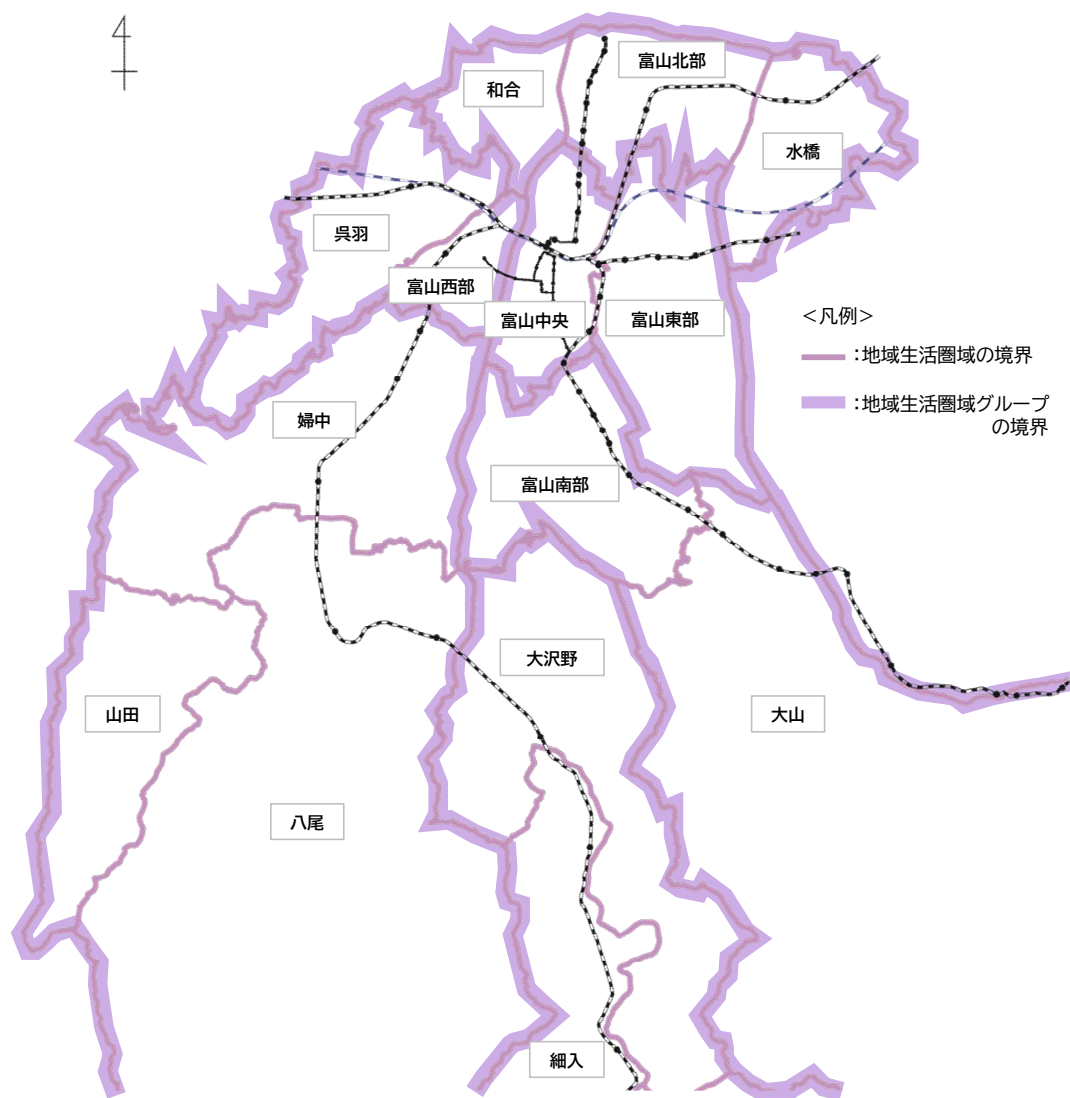
## 1 地域別構想とは

地域別構想は、全体構想に示した取組方針などを受け、各地域の現状や課題に対応したまちづくりの目標を設定し、実現するための方針を明らかにするものです。地域別構想の策定にあたっては、各地域の現況特性や全体構想における位置付け、市民アンケート結果を踏まえつつ、市民ワークショップで出されたアイデアなどを参考としながら、地域のまちづくりの目標や主な取組・分野別の方針を設定します。

## 2 地域区分

地域別構想における地域区分は、14地域に設定します。なお、地形的特性や市民の生活行動（買い物、通勤・通学や通院）から、つながりが強い地域同士をグループとして整理します。

### ■地域生活圏域とグループ



## II 地域別構想

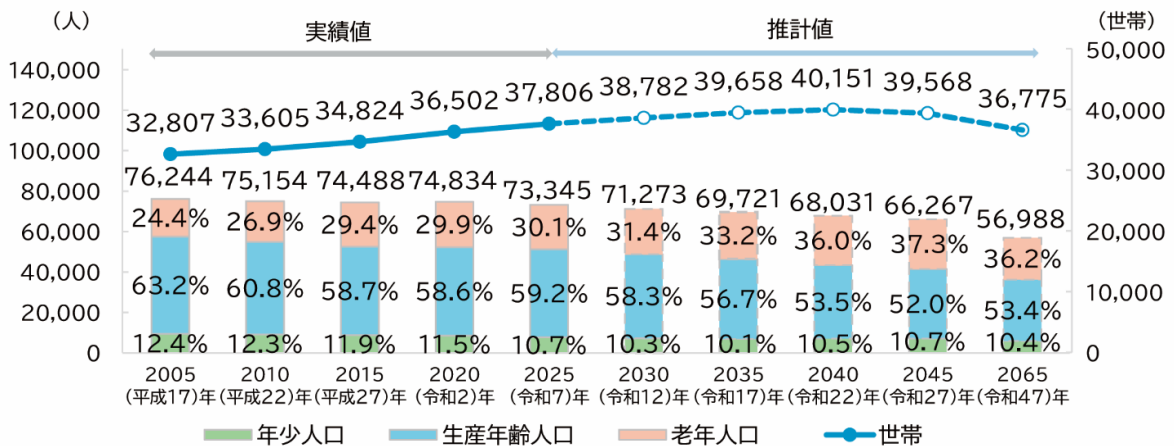
### 1 富山中央地域

#### (1) 地域の現状

##### ①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年の人口は73,345人、高齢化率は約3割です。今後、世帯数は2040（令和22）年にピークを迎え、減少に転じる見込みです。

##### ■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

##### ②歴史・文化

地域内には、日枝神社や護国神社をはじめとする寺社仏閣に加え、富山市郷土博物館や池田屋安兵衛商店、富山市ガラス美術館などが立地し、歴史・芸術文化の拠点となっています。また、富山駅北側には、治水の歴史を学ぶことができる富岩運河や国の重要文化財の中島閘門があります。

##### ③自然・レクリエーション・景観

市街地を流れる松川・いたち川は、桜の名所として市民に親しまれ、潤い空間となっています。城址公園をはじめ、稻荷公園や布瀬南公園、神通川緑地は、自然を身近に感じることができる市民の憩いの場となっています。

また、城址大通りなどでは、通りを美しく彩るフラワーハンギングバスケットやバナーフラッグを設置し、魅力ある都市景観を創出し、質の高い景観形成を図っています。

##### ④公共交通

富山駅を中心に鉄軌道やバス路線などが結節し、公共交通の徒歩圏が地域の大部分をカバーしている利便性が高い環境にあります。

### ⑤土地利用

都市的土地利用が最も進んでおり、住宅用地及び商業用地の割合が高くなっていますが、低未利用地が全域に点在しています。都心地区や幹線道路沿線では、主に商業用地が分布していますが、それ以外の地域では、住宅用地とその他の用途が混在しています。また、富岩運河沿いには、工業用地が広がっています。

### ⑥災害リスク

富山駅をはじめ、多くの都市機能が集積する地域ですが、旧河道などの地形条件により、洪水などの豪雨を起因とした災害が懸念されます。

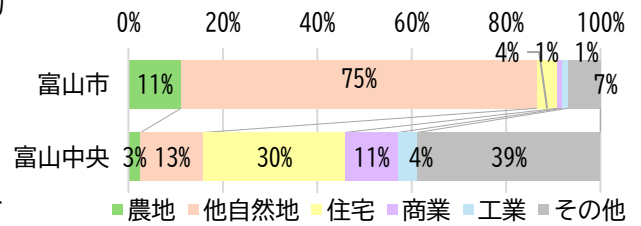
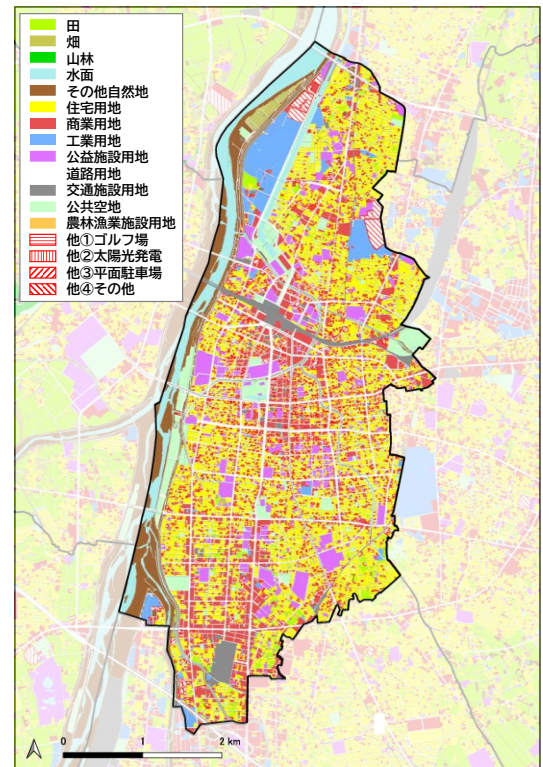
### ⑦生活行動

日常の買い物や通院、文化やスポーツの約8割、通勤・通学の約7割、その他の買い物の約6割が、自地域内で行われています。

### ⑧地域のつながり

様々な地域とのつながりがありますが、特に地形的には富山東部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

### <市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇中心市街地の多様な機能集積 (富山城、ホールや美術館、商業施設の集積など)</li> <li>◇中心部の賑わい・誇り (飲食店の立地、山王さんやチンドンなどの祭、延命地藏尊などの水の豊かさ、松川の桜や神通川の花火など)</li> <li>◇住みやすさ・歩いて暮らせる (施設や公共交通の集積、充実した教育環境、医療や高齢者施設の立地、富岩運河環水公園などの大きな公園)</li> </ul>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『おしゃれ、スマート、はっぴー』 『若い女性が住みやすいまち』 『歩ける、歩きたくなるまち＝安全、楽しい、住み続けたいまち』</p>

## (2) まちづくりの目標

富山中央地域では、多くの市民や来街者が利用する拠点性、都市の諸機能の集積、水辺や緑、城址公園をはじめとした歴史文化資源などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

### i) 質の高い生活や豊かな都市活動が生まれる都心地区の形成

全ての鉄軌道が結節し多くの市民や来街者が利用する拠点性や、都市の諸機能の集積を活かし、商業・業務の活性化、市民・来街者の交流促進、都市機能の充実などを図ります。

### ii) 本市の「顔」としての都心コアエリアの形成

路面電車環状線周辺は、広域的な都市機能の集積を活かし、都市の緑の整備、ウォーカブルな都市空間の形成に向けた道路・河川空間の再構成などによる都市空間の質の向上、商業・業務機能のさらなる充実などを図り、社会経済活動を牽引する本市の「顔」として、活力ある市街地を形成します。

### iii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

公共交通の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、既成市街地の更新や都心コアエリアの魅力を高めることで、車に頼らずに生活できる良好な居住環境を形成します。

### iv) 人中心の快適で賑わいのある都市空間の形成

徒歩や公共交通で安全・快適に回遊でき、人と人との出会いが生まれる都市空間を形成します。

### v) 都市の水辺や緑、歴史文化資源に親しめる場の形成

松川・いたち川、城址公園などを活かし、市民や来街者が都市の水辺空間や緑、歴史文化に親しめる場を形成します。

### vi) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

### (3) 分野別の方針

#### ①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"><li>・富山駅周辺～総曲輪地区にかけた市街地は、広域商業地区とします。特に都心コアでは、再開発や中心商店街の活性化などを進めながら、中核的な商業・業務機能を誘導するとともに、集客力のあるスポーツ・レクリエーション機能や、教育文化、業務、医療、福祉などの多様な機能を誘導し、まちなかの賑わいや魅力の向上を図ります。また、商業などの生活関連機能の集積を活かしたまちなか居住を推進します。</li><li>・都心地区から放射状に伸びる国道 41 号などの幹線道路や（都）草島東線などの環状道路の沿道は、沿道商業地区とし、沿道商業機能の適正な立地を図ります。</li></ul>
産業系	<ul style="list-style-type: none"><li>・富岩運河西側や下奥井駅東側の既存工業地は、工業地区に位置付けるとともに、将来、土地利用の転換が発生する場合には、周辺を考慮した土地利用の見直しを行います。</li><li>・富山市公設地方卸売市場周辺は、流通業務地区とし、流通業務に関連した店舗や事業所などの誘導を図ります。</li></ul>
住宅系	<ul style="list-style-type: none"><li>・神通川沿いなどは、住宅専用地区とし、良好な住環境を形成します。</li><li>・富山港線沿線や南富山駅周辺などは、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。</li><li>・広域商業地区周辺や富山市公設地方卸売市場南側などは、複合用途地区とし、商業・業務と居住との調和がとれた住宅地を形成します。</li><li>・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。</li><li>・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。</li></ul>

#### ②交通体系の方針

##### 公共交通

- ・鉄軌道（あいの風とやま鉄道線、富山地方鉄道本線、不二越・上滝線、JR高山本線、富山港線及び路面電車）の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良を進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を推進します。
- ・生活の足を確保するため、生活バス路線の維持やまいどはやバスの機能確保に努めるとともに、シェアサイクルなどの身近な移動手段により、移動環境の充実を図ります。
- ・富山駅周辺では、交通結節機能の強化を図るため、連続立体交差事業や都市計画道路などの整備を推進します。また、ウォークアブルな都市空間の形成に向けた道路空間の再構成、路面標示による自動車から分離された走行空間などの自転車利用環境の整備などにより、駅とまちの一体的な都市空間の創出を図ります。
- ・南富山駅周辺では、交通結節機能の強化、文教地区の特性を活かした副次都市拠点の形成を図るため、駅前広場や駅関連施設などの整備を推進します。

## 道路

- ・高規格道路の富山外郭環状道路の一部である国道8号中島本郷立体・豊田新屋立体などの整備を促進します。
- ・都心地区と各拠点とを連絡する(都)下新西町上赤江線・(都)呉羽町袋線などの整備を進めます。
- ・富山駅周辺の円滑な交通確保のため、(都)富山駅横断東線・(都)堀川線などの整備を推進します。
- ・良好な市街地景観の形成を図るため、(都)堀川線などでの無電柱化を進めます。
- ・神通大橋(上流側)及び宮下橋・千歳橋・八幡橋の更新、神通大橋(下流側)の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。
- ・ウォーカブルな都市空間の形成に向け、駅と市街地をつなぐ道路空間の再配分などを推進します。

### ③その他の都市施設・機能の方針

#### 公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・城址公園や県庁前公園(周辺)、富岩運河環水公園は、富山らしさを象徴する公園として利活用の推進、機能充実に向けた整備に努めます。また、近隣公園である粟島公園を整備します。
- ・神通川緑地を核に、スポーツ・レクリエーションの場の形成を図ります。
- ・旧小学校跡地などの公有地を活用し、新たな都市機能の整備を進めます。

#### 河川・水路、上水道、下水道

- ・富岩運河や松川・いたち川の環境保全を図るとともに、周辺施設と一体となったウォーカブルで魅力ある水辺空間の形成に努めます。
- ・神通川右岸では、堤防の強化を図るため、堤防改良事業を促進します。
- ・避難所や緊急輸送道路下などにおける上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・松川処理分区などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・市民が安全に生活できるよう松川第一排水区などにおいて浸水対策を推進します。

### ④都市の質に関する方針

#### 環境、景観、ユニバーサルデザイン

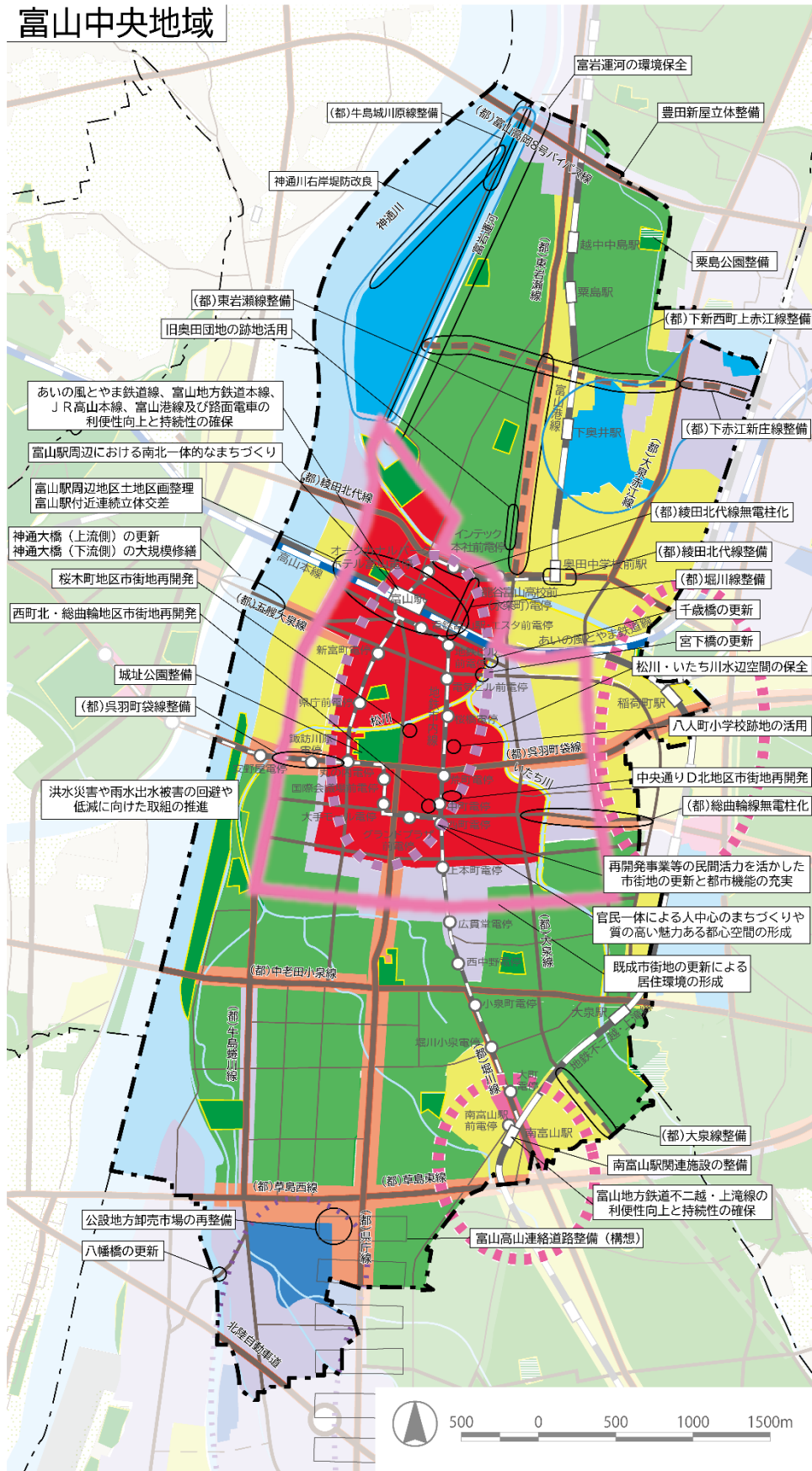
- ・都心地区などの公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・都心コアでは、本市の顔として、再開発事業などによる良好な居住環境整備、賑わい創出につながる機能の更新・充実を推進するとともに、街路緑化・無電柱化、建築物・広告物の形態・位置・色のコントロールなどにより特色ある都市景観の形成を図り、誰もが歩いて楽しく、賑わいや活気にあふれるウォーカブルな空間づくりを推進します。

#### 防災・防犯

- ・洪水や雨水出水など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図

富山中央地域



凡例	
土地利用	広域商業地区
	地域商業地区
	沿道商業地区
	工業地区
	流通業務地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	農業保全地域
	集落地域
	水面
交通	鉄道
	軌道
	新幹線
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	(構想・広域幹線道路)
	(構想・主要幹線道路)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
公園	都市公園
	(今後整備 ※事業中含む)
工業	工業地区(保全)
	流通業務地区
境界	地域区分
	都心地区
拠点	地域生活拠点(副次都市拠点)
	都心コア

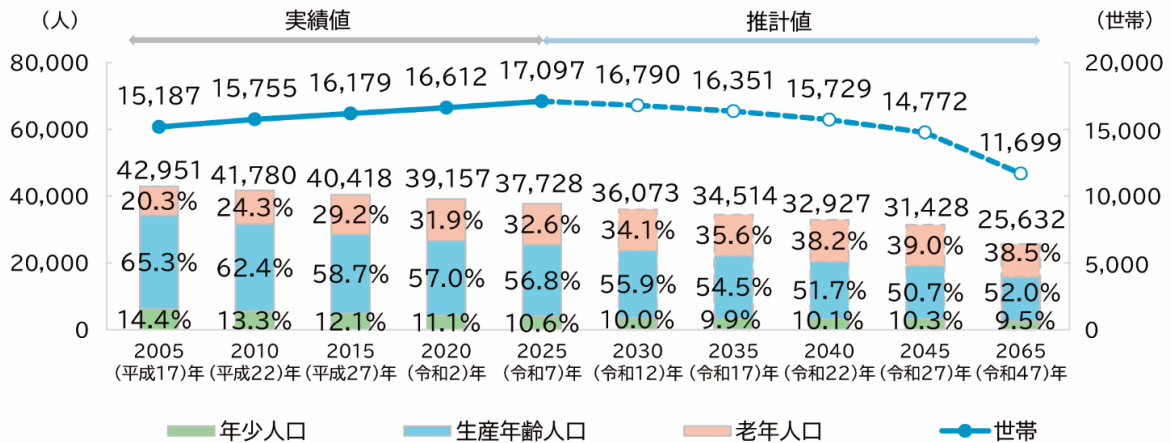
## 2 富山北部地域

### (1) 地域の現状

#### ①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年の人口は37,728人、高齢化率は32.6%と3割を超えています。今後、世帯数も減少に転じ、高齢化率は4割に近づく見込みです。

#### ■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

#### ②歴史・文化

岩瀬地区には、国の重要文化財である旧森家住宅や国の登録有形文化財である旧馬場家住宅などの文化財建築物が歴史的町並みを形成し、歴史文化の学習拠点となっているほか、地域のつながりを強める、地域固有の祭りも行われています。

#### ③自然・レクリエーション・景観

沿岸部では、伏木富山港（富山地区）や3つの運河（富岩、岩瀬、住友）が整備され、水上ラインや遊歩道での散策などにより、気軽に水辺に親しむことができます。

富山湾、神通川、常願寺川、豊かな田園地帯があり、立山連峰を一望することができます。

海岸沿いには、海水浴場やキャンプ場があり、マリンスポーツや散策を楽しむことができます。富山市民球場や東富山運動広場などのスポーツ施設も充実しています。

また、豊富な地下水を活用した温泉施設も集積しています。

#### ④公共交通

富山港線の各駅やあいの風とやま鉄道線の東富山駅が立地し、複数のバス路線や富山港線に接続するフィーダーバスなどがあります。

### ⑤土地利用

富山港線沿線や国道8号沿い、東富山駅周辺を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がっており、運河周辺やエコタウン産業団地には、大規模な企業団地が整備されています。

また、富山港線沿線で小規模な低未利用地が存在しており、畑や水田などの農地が地域の3割、住宅用地が地域の1割を占めています。

### ⑥災害

氾濫平野と臨海部に形成された木造住宅の密集地や住宅地で、要配慮者利用施設も多く、地震時の津波や、洪水など豪雨を起因とした災害が懸念されます。

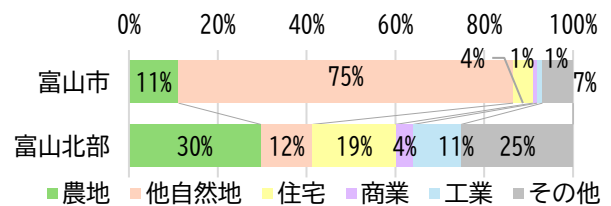
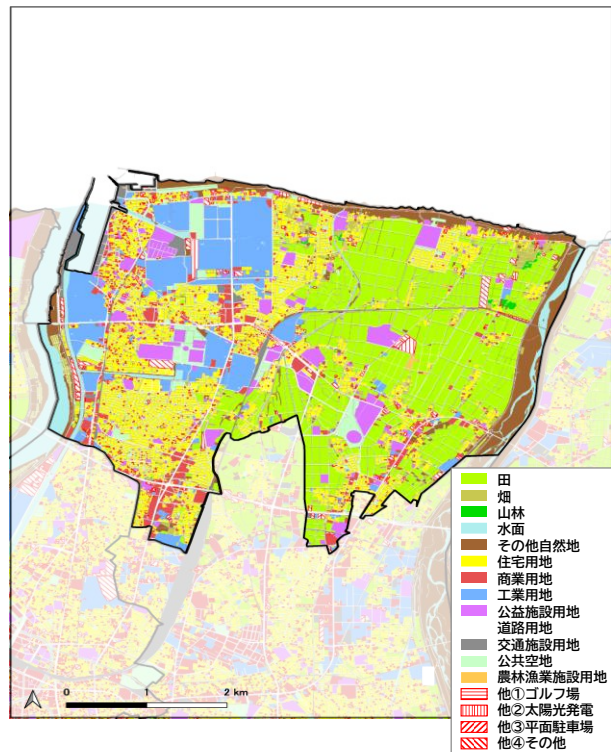
### ⑦生活行動

日常の買い物の約7割、通院の約6割が自地域内で行われていますが、通勤・通学やその他の買い物は、約2割程度となっています。

### ⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、和合地域や水橋地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

### <市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇海の観光資源            (岩瀬浜などの海水浴場やキャンプ場、岩瀬の港、カニやエビなどの海産物、富岩運河、富山湾岸サイクリングロード、立山連峰などの眺望)</p> <p>◇岩瀬を中心とした歴史文化資源            (岩瀬のまちなみ、森家・馬場家などの建築、酒蔵、岩瀬曳山車祭など)</p> <p>◇公共交通の利便性の良さ、住みやすさ            (鉄道・フィーダーバス路線・富岩運河水上ラインなどの多様な交通、岩瀬スポーツ公園やアルペンスタジアムなどの施設が充実、豊富な温浴施設)</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『海を五感で楽しむ 住みよい街』</p>

## (2) まちづくりの目標

富山北部地域では、岩瀬の歴史文化資源、商業施設などの集積、公園や球場などのスポーツ施設、海辺のレジャー施設などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

### i) 歴史文化資源と生活に必要な機能の集積を活かした生活拠点の形成

東岩瀬駅周辺から萩浦小学校前駅周辺において、公共交通の利便性と歴史文化資源、商業施設・病院などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

### ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道線や富山港線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

### iii) スポーツ施設やレジャー施設を活かしたレクリエーションの場の形成

岩瀬スポーツ公園や富山市民球場（アルペンスタジアム）、海水浴場・浜黒崎キャンプ場、温浴施設などを核に、市民や来街者がレクリエーションに親しめる場を形成します。

### iv) 海岸などの自然環境や田園が広がる農業・農村環境の保全

海岸などの豊かな自然環境や田園が広がる農業・農村環境の保全を推進します。

### v) 伏木富山港(富山地区)や国道8号との結節性を活かした産業集積の保全や誘導

伏木富山港（富山地区）や国道8号との結節性を活かし、エコタウン産業団地をはじめとした産業集積の保全・誘導を図ります。

### vi) 安全・安心なまちの形成

津波などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

### (3) 分野別の方針

#### ①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域生活拠点である東岩瀬駅周辺から萩浦小学校前駅周辺は、地域商業地区とし、富山港線の利便性向上などとあわせて、最寄り品小売業や金融機関、公共施設の充実を図ります。</li></ul>
産業系	<ul style="list-style-type: none"><li>・臨海部や運河沿いの既存工業地は、工業地区とし、重化学工業や大規模工場を主体とした産業集積を図ります。また、国道8号沿線は工業地区として位置付け、産業の集積を図ります。</li><li>・エコタウン産業団地では、資源循環施設の誘導に努めます。</li></ul>
住宅系	<ul style="list-style-type: none"><li>・住友運河以南は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境を形成します。また、住友運河以北は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。</li><li>・臨海部などの工業地区の周辺は、複合用途地区とし、生産機能と関連する流通業務やサービス機能と居住との調和がとれた住宅地を形成します。</li><li>・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。</li><li>・空き地・空き家の適正な管理や有効活用を通じて、安全・安心な住環境の維持・活性化を促進します。</li></ul>
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"><li>・農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制し、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。</li><li>・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。</li></ul>

#### ②交通体系の方針

##### 公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線及び富山港線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸である幹線バス路線やフィーダーバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線の維持に努めます。
- ・東富山駅や蓮町駅の周辺では、バスとの連携強化やパーク&ライド駐車場の充実による利用圏の拡大に努めます。
- ・新富山口駅周辺では、駅周辺の交通環境や利用状況などを踏まえ、駐車場の充実など利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

##### 道路

- ・高規格道路である富山外郭環状道路の一部である国道8号豊田新屋立体の整備を促進します。
- ・臨海工業地帯と都心地区を連絡する（都）東岩瀬線などの整備を促進します。
- ・鉄道駅へのアクセス道路として（都）東富山駅前線などの整備を促進します。
- ・橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

## ③その他の都市施設・機能の方針

**公園緑地・まちの緑、レクリエーション**

- ・良好な住環境形成に向けて、近隣公園である森公園や下富居公園を整備します。
- ・岩瀬浜、浜黒崎海岸、富岩運河などの一帯では、岩瀬の港や海水浴場、浜黒崎キャンプ場、温泉・飲食店などの地域資源を連携するレクリエーションの場の形成に努めます。

**河川・水路、上水道、下水道**

- ・常願寺川左岸では、堤防の強化を図るため、浸透対策事業を促進します。
- ・避難所や緊急輸送道路下などにおける上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・浜黒崎浄化センターなどにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう岩瀬第一排水区において浸水対策を推進します。

## ④都市の質に関する方針

**環境、景観、ユニバーサルデザイン**

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保、公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・東岩瀬駅の周辺となる岩瀬大町、新川町通りは、歴史的建造物の保全・活用を通じて、歴史的な町並み景観を形成するとともに、地域に親しまれている歴史的建造物や歴史的町並み景観の保全に向けた支援などを検討します。
- ・大村海岸や浜黒崎海岸での白砂青松の再生など海岸環境の保全に努め、自然景観の保全を図ります。

**防災・防犯**

- ・家屋が密集した市街地では、歴史的町並み景観の形成に配慮しつつ、不燃化建物への建替え誘導など、火災などの災害に強いまちづくりに努めます。
- ・洪水や雨水出水、地震時の津波や高潮など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・沿岸部では、緩傾斜護岸など海岸保全施設の整備を促進します。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。



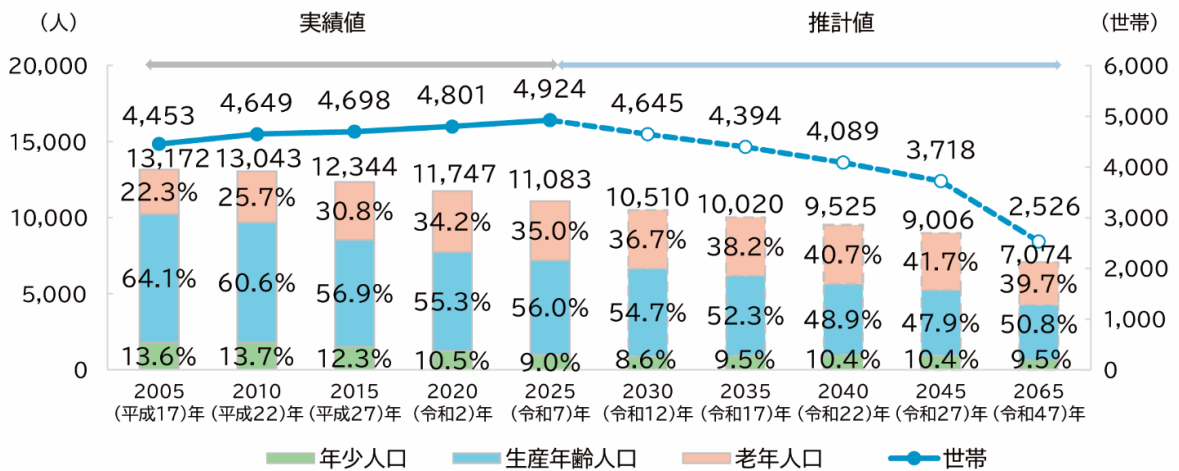
### 3 和合地域

#### (1) 地域の現状

##### ①人口・世帯数

人口は減少傾向であり、2025（令和7）年の人口は11,083人、高齢化率は35%と3割を超えています。今後、世帯数も減少に転じ、高齢化率は4割を超える見込みです。

■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

##### ②歴史・文化

沿岸部では、四方漁港を中心に、寺社が立地する港町の町並みが形成されています。また、富山湾をはじめ、神通川などの豊かな水辺空間に恵まれており、海水浴場や海浜公園では、マリンスポーツや散策が楽しめます。

南部には、江戸時代の豪農の屋敷で、国の登録有形文化財である内山邸があり、四季折々の風情を感じることができます。

##### ③自然・レクリエーション・景観

ブランド米である八町米の産地で、美しい田園風景が創出されています。また、豊富な地下水があり、沿岸部では、古くから温泉が集積しています。

地域内には、富山湾、神通川、豊かな田園地帯があり、立山連峰を一望することができるなど、自然が豊かです。

沿岸部では、豊富な水産物やアクティビティがあります。

##### ④公共交通

富山港線に接続するフィーダーバスなどのバス路線があります。

### ⑤土地利用

和合コミュニティセンター周辺を中心に、住宅と商業が混在した市街地が広がっています。

北東には工業用地や公益施設用地が広がり、大規模工場やチャレンジ・ミニ企業団地が立地しています。

農地が4割以上を占めており、市平均と比較すると、その割合が高くなっています。

### ⑥災害

氾濫平野と臨海部に木造住宅の密集地があり、地震時の津波、浸水深の深い洪水などの懸念があります。

### ⑦生活行動

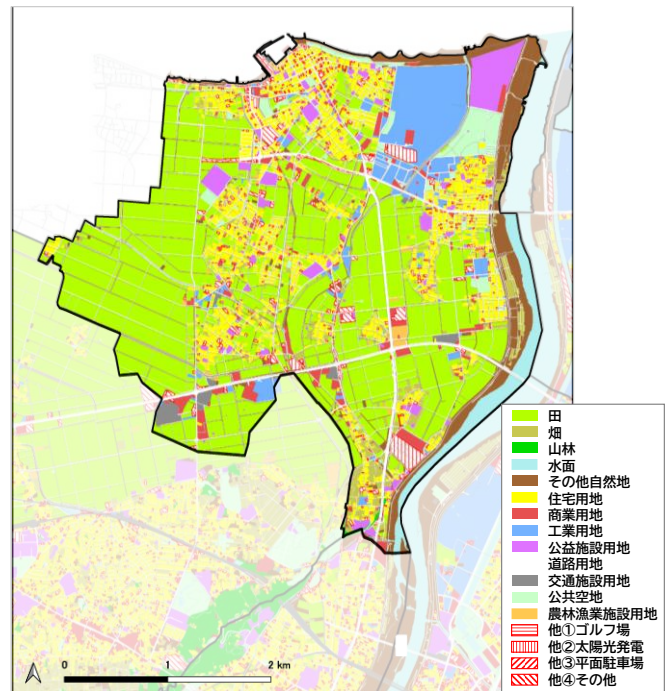
日常の買い物や通院、通勤・通学の約8割、その他の買い物などはほぼ全てが他地域内で行われています。

なお、富山中央地域や富山北部地域が主な行先となっています。

### ⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から、富山北部地域や水橋地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と土地利用面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

### <市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇海の資源            (富山湾や田園風景から、立山連峰や新湊大橋を望む景観、八重津浜海浜公園、四方漁港の海産物、鯉温泉などの温浴施設)</p> <p>◇ブランド米を育む豊かでのどかな田園環境            (八町米の産地、田園をはじめとした豊かな緑、獅子舞などの祭り)</p> <p>◇住みやすさ            (国道や幹線道路の充実、市街化されていないゆったりとした環境、地域のつながりによる治安の良さ)</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『住みやすい 来やすい 遊びやすい            ~WAい WAいで GO GO~』</p>

## (2) まちづくりの目標

和合地域では、海辺の自然環境・レクリエーションの場、産業の集積などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

### i) 海辺の自然環境やレクリエーションの場を活用した地域拠点の形成

和合コミュニティセンター周辺において、生活機能の維持と、海辺の自然環境や公園などのレクリエーションの場を活かし、市民や来街者の都市活動を生み出す地域拠点を形成します。

### ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

富山港線に接続するフィーダーバスの活性化などと連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

### iii) 拠点などを結ぶ公共交通や主要な道路の適正な保全や整備

和合コミュニティセンター周辺の市街地や既存集落（宅地）などを結ぶ公共交通・主要な道路を適正に整備・保全し、周辺地域との円滑な移動環境を形成します。

### iv) 海岸などの自然環境や田園が広がる農業・農村環境の保全

海岸などの豊かな自然環境や田園が広がる農業・農村環境の保全を推進します。

### v) 伏木富山港（富山地区）や国道8号との結節性を活かした産業集積の保全

伏木富山港（富山地区）や国道8号との結節性を活かし、産業集積の保全を図ります。

### vi) 安全・安心なまちの形成

津波などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

### (3) 分野別の方針

#### ①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域生活拠点である和合コミュニティセンター周辺では、旧市街地の商店街を地域商業地区とし、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。</li><li>・海辺の地域資源の活用を見据え、四方漁港や四方海浜公園などは交流の場づくりを検討します。</li></ul>
産業系	<ul style="list-style-type: none"><li>・臨海部の大規模工場や企業団地は、工業地区とし、先端産業などの集積を図ります。</li></ul>
住宅系	<ul style="list-style-type: none"><li>・打出地区は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、また幹線道路沿道は一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、田園環境と調和するとともに、利便性と快適性を兼ね備えた定住環境を形成します。</li><li>・地域商業地区周辺の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。</li><li>・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。</li><li>・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。</li></ul>
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"><li>・農地は、農業保全地域とし、虫食い的な農地転用を抑制し、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。</li><li>・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。</li></ul>

#### ②交通体系の方針

##### 公共交通

- ・公共交通軸であるフィーダーバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線の維持に努めます。
- ・和合コミュニティセンター周辺では、都市計画道路の整備に伴う歩行空間の整備などによる移動環境の改善に努めます。

##### 道路

- ・高規格道路で富山外郭環状道路の一部である国道8号中島本郷立体の整備を促進します。
- ・都心地区や各拠点との連絡を支える道路ネットワークとして、（都）打出線・（一）練合宮尾線の整備を促進します。
- ・橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

### ③その他の都市施設・機能の方針

#### 公園緑地・まちの緑、レクリエーション

- ・みどりの核として和合公園を整備します。また、射水線跡地の歩行者専用道路は、緑豊かな緑地空間の維持に努めます。
- ・八重津浜海岸の一带は、四方漁港や四方海浜公園での賑わいの創出と、温浴施設や飲食店などの地域資源と連携により、海辺のレクリエーションの場を形成します。
- ・神通川の河川敷は、河川環境の保全を図るとともに、野鳥観察などレクリエーションの場としての活用を進めます。

#### 河川・水路、上水道、下水道

- ・神通川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業などを促進します。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・八町第2マンホールポンプ所などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。

### ④都市の質に関する方針

#### 環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・八重津浜海岸及び海岸に接するクロマツ群落の一体的な保全や整備などを推進します。

#### 防災・防犯

- ・家屋が密集した旧市街地は、不燃化建物への建替え誘導など、火災に強いまちづくりに努めます。
- ・洪水や雨水出水、地震時の津波・高潮など危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

■まちづくり方針図



拠点内の主な施設	★	商業(スーパーマーケット、生鮮食品取扱のドラッグストア)
	■	金融機能(銀行、郵便局、JAなど)
	🏠	医療機能(内科)
	—	フィーダーバス

凡 例	
■	地域商業地区
■	沿道商業地区
■	工業地区
■	住宅専用地区
■	住居地区
■	複合用途地区
■	農業保全地域
■	集落地域
■	森林環境保全地域
■	水面

交通	—	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	—	(構想: 広域幹線道路)
	—	(構想: 主要幹線道路)
工業	—	工業地区(保全)
	—	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)
	—	地区幹線道路
公園	—	工業地区(保全)
	—	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)
拠点	—	地域生活拠点(地域拠点)
境界	—	地域区分

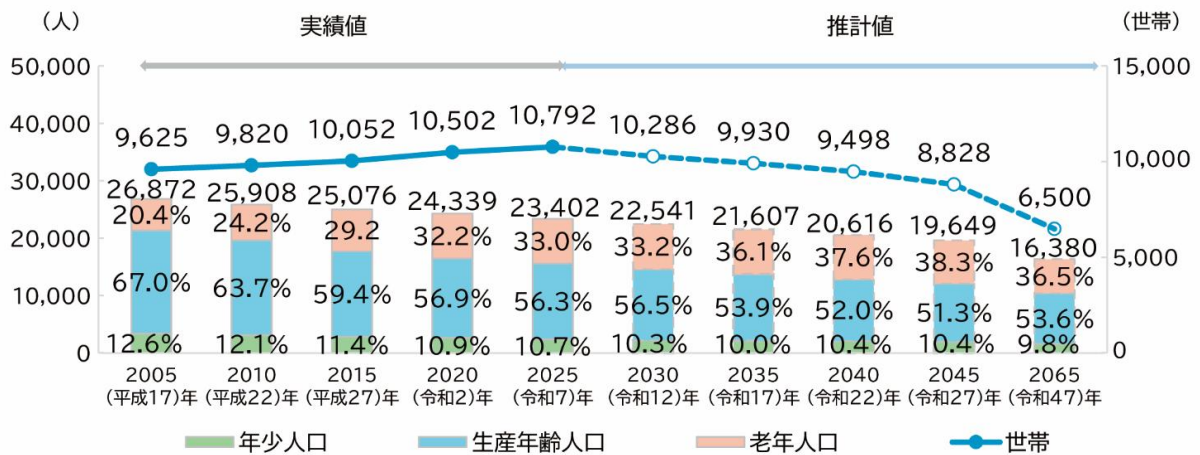
## 4 呉羽地域

### (1) 地域の現状

#### ①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年の人口は、23,402人、高齢化率が33%と3割を超えています。今後、世帯数も減少に転じ、高齢化率は高まる見込みです。

#### ■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

#### ②歴史・文化

地域内には、ガラス造形活動の拠点であるガラス造形研究所やガラス工房、富山市民芸術創造センターのほか、県立図書館などが立地しており、芸術文化の拠点となっています。

また、呉羽丘陵周辺には、古墳や城跡、縄文遺跡など、数多くの歴史文化資源に触れることができます。

#### ③自然・レクリエーション・景観

呉羽丘陵地には、梨畑や果樹園が広がり、新たな特産品の創出も進んでいます。また、身近な里山や豊かな自然景観があり、呉羽丘陵フットパスや富山市ファミリーパークなど、自然を活かしたレクリエーション施設などが立地するとともに、呉羽青少年自然の家では、様々な野外アクティビティを体験できます。

#### ④公共交通

あいの風とやま鉄道線の呉羽駅が立地し、富山西部地域を經由し富山駅に向かう複数のバス路線や、生活の足としての地域自主運行バスがあります。

### ⑤土地利用

地域生活拠点である呉羽駅周辺から（主）富山高岡線の沿線を中心に、住宅と商業用地が混在した市街地が広がり、富山西IC周辺では、呉羽南部企業団地を整備し、工業用地が広がっています。また、市街化区域内などで低未利用地が存在しています。梨畑や水田などの農地が地域の4割を占めています。

### ⑥災害リスク

谷地形上に住宅地が形成され、土砂災害や雨水出水の影響が局所的に懸念されます。

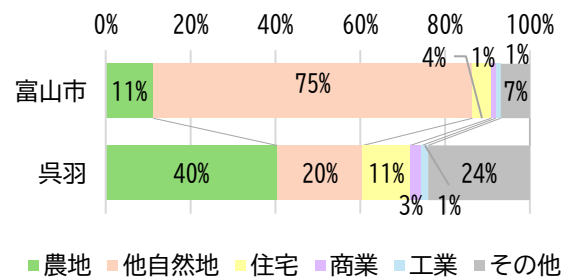
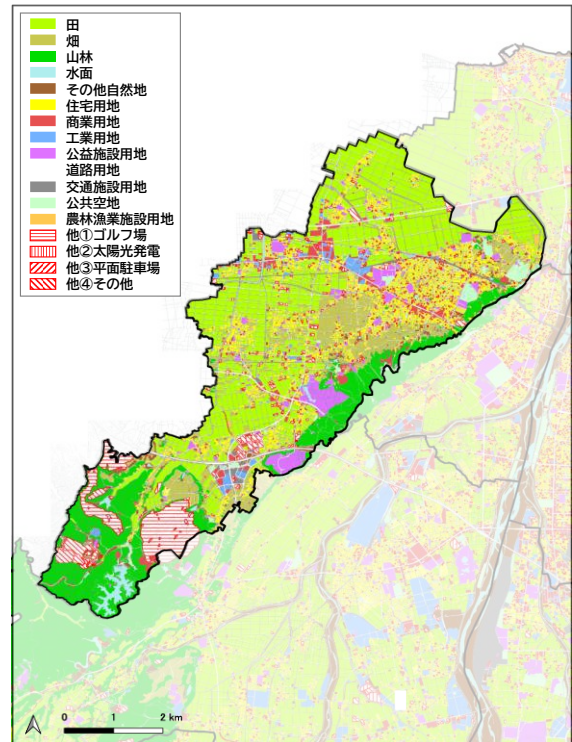
### ⑦生活行動

日常の買い物の約8割、通院の半数程度が自地域内で行っていますが、通勤・通学やその他の買い物、文化・スポーツなどは2～3割程度となっています。

### ⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から富山西部地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

### <市民ワークショップでの提案>

<p>《地域の魅力》</p>	<p>◇食 （呉羽梨などの果実、八町米、人参や玉ねぎなどの高付加価値作物など）</p> <p>◇自然・体験 （呉羽丘陵フットパスなどの豊かな自然環境や立山連峰が一望できる景色、民俗民芸村や北代縄文広場などの歴史的施設、文化施設が集積し、様々な活動や体験が可能）</p> <p>◇暮らし （呉羽駅周辺に商業などが集積、先端医療が受けられる富山大学附属病院、おしゃれなカフェや飲食店が多数あり）</p>
<p>《20年後の地域の将来イメージ》</p>	<p>『学生のエネルギーあふれるまち』</p> <p>『呉羽丘陵を核に自然・文化・音・食のまち』</p> <p>『とやまのへそ花のじゅうたん広がる908（くれは）』</p>

## (2) まちづくりの目標

呉羽地域では、芸術文化の場、商業施設などの集積、呉羽丘陵の施設や自然環境などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

### i) 芸術文化の場を活かした呉羽駅周辺を中心とする生活拠点の形成

呉羽駅周辺において、公共交通の利便性と富山市民芸術創造センターなどの充実した芸術文化の場、商業施設・病院などが集積する環境を活かし、生活サービスや文化・交流機能の維持・充実に努めます。

### ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

あいの風とやま鉄道線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

### iii) 呉羽丘陵を核とした自然・レクリエーションの場の形成

呉羽丘陵フットパスや富山市民ファミリーパーク、ガラス工房などがある呉羽丘陵を核に、市民が自然環境やレクリエーションに親しめる場を形成します。

### iv) 水田や果樹園からなる豊かな農業・農村環境の保全

水田や果樹園からなる豊かな農業・農村環境を保全します。

### v) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の保全や誘導

富山西 I C や幹線道路との結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

### vi) 安全・安心なまちの形成

土砂災害などのリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

### (3) 分野別の方針

#### ①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主) 富山高岡線沿道は、地域商業地区とし、公共交通の活性化にあわせ、最寄り品小売業や金融機関、公共施設などの機能を維持します。</li> </ul>
産業系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸自動車道の富山西 I C 周辺は、工業地区とし、呉羽南部企業団地における産業集積の保全及び先端技術を用いた製造工場や流通業務施設の立地を誘導します。</li> </ul>
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呉羽駅南周辺を除く市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区とし、良好な住環境を形成します。</li> <li>・呉羽駅南周辺は、住居地区とし、市民芸術創造センターなどの公共公益施設や駅周辺の商業施設と調和した住宅地を形成します。また、呉羽駅北口では、引き続き計画的に住宅地の整備を促進します。</li> <li>・あいの風とやま鉄道線と(主) 富山高岡線が交差する地区周辺は、複合用途地区とし、沿道施設と住宅との調和を図ります。</li> <li>・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。</li> <li>・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。</li> </ul>
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。また、地域を特徴づける農業の保全を図ります。</li> <li>・山間部に近い農地は、優先的に維持する農地と粗放的な管理を行う農地を明確化するなどにより、農業者が減少する中でも、良好な農業・農村環境を維持します。</li> <li>・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。</li> </ul>

#### ②交通体系の方針

##### 公共交通

- ・あいの風とやま鉄道線の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線の維持や地域自主運行バスの機能確保などに努めます。
- ・呉羽駅では、バスとの連携強化などにより利用環境の改善や利用圏域の拡大に努めます。

##### 道路

- ・高規格道路である富山外郭環状道路の整備構想検討や国道 8 号中島本郷立体の整備を促進します。
- ・都心地区と各拠点とを連絡する(都) 綾田北代線・(都) 北代線などの整備を促進します。
- ・呉羽駅へのアクセス道路として市道高木 10 号線の整備を推進します。
- ・橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

### ③その他の都市施設・機能の方針

#### 公園・緑地、レクリエーション

- ・北代緑地、北代縄文広場、都市緑化植物園をはじめ、富山西部地域を含めた呉羽丘陵全体の回遊性と魅力向上、利用促進を図ります。
- ・呉羽丘陵では、里山環境やホクリクサンショウウオをはじめとした生物の生息環境の保全に配慮した上で、ファミリーパークの再整備や、呉羽丘陵フットパスを活かした周遊散策路整備などを通じて、森林を活かしたレクリエーションの場の形成を図ります。
- ・ガラス工房やガラス造形所を核とするグラス・アート・ヒルズ富山を拠点に、ガラス作家や市民が集いガラス文化に親しむ環境の構築を図ります。

#### 河川・水路、上水道、下水道

- ・新鍛冶川は、自然や生態系に配慮した水辺景観に配慮しつつ、治水機能の向上を図ります。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・呉羽駅前雨水ポンプ場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう新鍛冶川排水区において浸水対策を推進します。

### ④都市の質に関する方針

#### 環境、景観、ユニバーサルデザイン

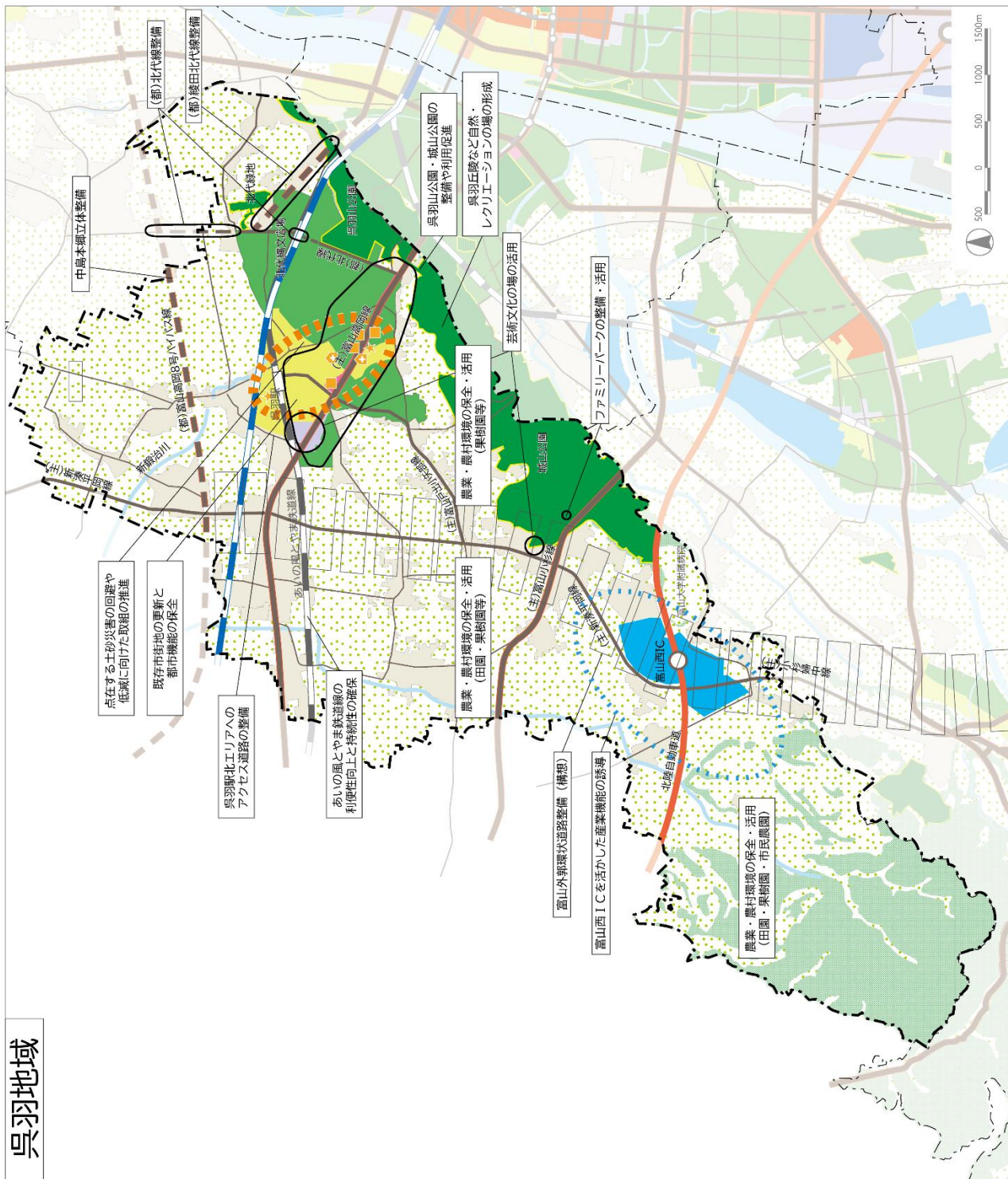
- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・呉羽丘陵周辺は、建築の規制など秩序ある土地利用により、良好な緑地景観の保全を図ります。
- ・（主）富山高岡線と呉羽駅を結ぶ区間は、隣接する富山市民芸術創造センターの立地を活かし、芸術文化の場にふさわしい景観誘導を図ります。

#### 防災・防犯

- ・呉羽丘陵周辺の土砂災害の危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

# まちづくり方針図

凡例	広域商業地区	地域商業地区	沿道商業地区	工業地区	流通業新地区	住宅地区	複合用途地区	農業保全地域	集落地域	森林環境保全地域	水面	鉄道	新幹線	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)	(構想:広域幹線道路)	(構想:主要幹線道路)	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)	地区幹線道路	都市公園 (今後整備 ※事業中含む)	工業地区(誘導・保全)	地域生活拠点(生活拠点)	地域区分
土地利用																						
交通																						
公園																						
工業																						
拠点																						
境界																						
拠点内の主な施設																						
	商業(スーパーマーケット、生鮮食品 施設のトラフィックストア)	金融機関(銀行、郵便局、JAなど)	医療機能(内科)																			



## 呉羽地域

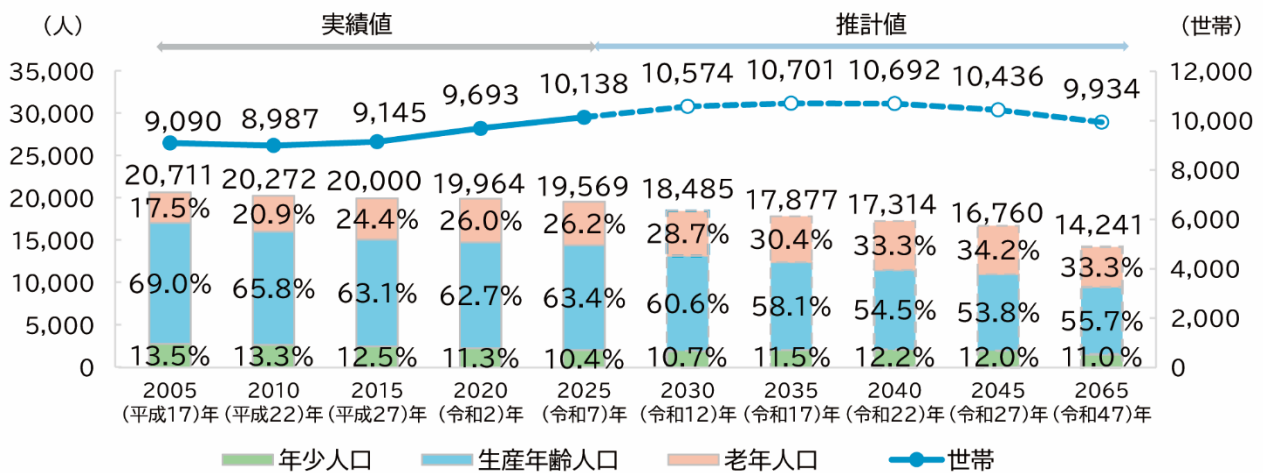
## 5 富山西部地域

### (1) 地域の現状

#### ①人口・世帯数

人口は減少傾向にあり、2025（令和7）年時点で19,569人、高齢化率は26%と他地域に比べ低くなっています。今後、世帯数も減少に転じ、高齢化率は3割を超える見込みです。

#### ■人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し



出典：国勢調査及び富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の各種設定値を活用して、住民基本台帳データを基に250mメッシュ単位で集計処理し、各地域で按分して算出

#### ②歴史・文化

地域内には、富山大学をはじめ、富山商業高校や富山工業高校、富山大学附属小中学校など、市内だけでなく、県内外から選ばれる教育施設が立地しています。

富山県水墨美術館が立地しているほか、五福公園を中心としたレクリエーション施設、富山市民俗民芸村や文化財などの地域資源があり、学術文化や交流機能が充実しています。

#### ③自然・レクリエーション・景観

呉羽丘陵における緑地環境や自然景観が身近にあり、呉羽山展望台や呉羽丘陵フットパス連絡橋などの観光スポットが充実しています。

#### ④公共交通

路面電車の停留場とJR高山本線の西富山駅が立地し、富山駅などへ向かう複数のバス路線があります。

### ⑤土地利用

地域生活拠点である富山大学前停留場周辺を中心に、住宅や商業、教育施設などの土地利用が広がり、住宅、商業をあわせると、地域内の4分の1を占め、南西には、金屋企業団地が立地しています。また、低未利用地も多く点在しています。

市街地近郊にはまとまった農地があり、地域の2割を占めています。

### ⑥災害リスク

氾濫平野に位置しており、地域のほとんどが浸水想定区域に含まれています。また、神通川や井田川付近では、深い浸水が想定され、家屋倒壊など氾濫想定区域も指定されています。さらに、呉羽山断層に隣接しており、呉羽山周辺では、地震を起因とした土砂災害などの懸念があります。

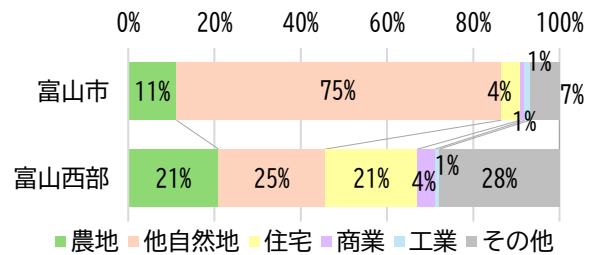
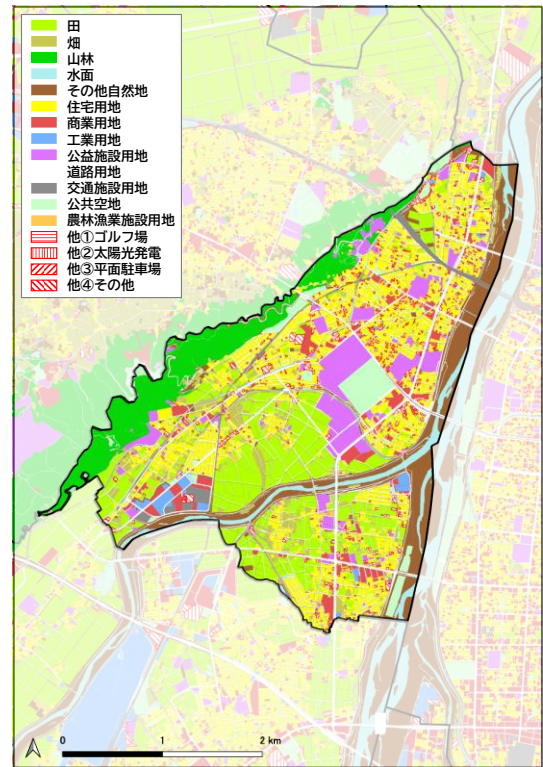
### ⑦生活行動

日常の買い物の約7割・通院の約4割が自地域内で行っていますが、通勤・通学やその他の買い物は約2割程度となっています。

### ⑧地域のつながり

地形や環境、市民の生活行動から呉羽地域と強いつながりがあります。

■土地利用現況と面積比率



出典：都市計画基礎調査（令和5年度）

### <市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇住む（都心への移動が便利、スーパーなどの生活利便施設が充実、五福公園や周辺の田園などで農地や自然と触れ合え遊べる、市街地の近郊で農業が盛んで新鮮な米や野菜が食べられる）</li> <li>◇観る（呉羽丘陵の自然、立山連峰や田園などの景色、民俗民芸村や五百羅漢・富山県水墨美術館などの歴史・文化施設が充実）</li> <li>◇学ぶ（富山大学や高校などが集積する学生街）</li> </ul>
《20年後の地域の将来イメージ》	『住む・観る・学ぶを磨き上げ、 住みたい・行きたい・伝えたい 富山西部』

## (2) まちづくりの目標

富山西部地域では、路面電車などの公共交通の利便性、学術・産業機能と商業施設などの集積、呉羽丘陵の施設や自然環境などを活かし、まちづくりを推進するため、次の目標を設定します。

### i) 路面電車の利便性と学術・産業機能の立地を活かした副次都市拠点の形成

富山大学周辺において、路面電車などの公共交通の利便性と、大学・高校・新産業支援センターなどの学術・産業機能と商業施設などの集積を活かし、生活サービスと、産学官が連携する業務や交流機能などの充実を図ります。

### ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

J R 高山本線や路面電車などの活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また、既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

### iii) 呉羽丘陵や五福公園を核とした自然・レクリエーションの場の形成

呉羽丘陵フットパスや富山市民俗民芸村、ファミリーパークなどがある呉羽丘陵、陸上競技場や野球スタジアムのある五福公園を核に、市民が身近に自然環境やレクリエーションに親しめる場を形成します。

### iv) 田園が広がる農業・農村環境の保全

都市近郊に広がる農業・農村環境の保全を推進します。

### v) 安全・安心なまちの形成

洪水などの災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を進めます。

### (3) 主な取組・分野別の方針

#### ①土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副次都市拠点である富山大学前停留場をはじめとする路面電車沿線の市街地は、地域商業地区とし、公共交通の活性化とあわせて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設をはじめ、富山大学などの学術研究機関の集積を活かし、新たなビジネス創造に向けて就業の場や交流の場の充実を図ります。</li> <li>・(都)五艘大泉線、(都)呉羽町袋線の沿道のうち、環状道路である(都)草島西線以東は、沿道商業地区として位置付け、沿道商業機能の立地の適正化を図ります。</li> </ul>
産業系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金屋企業団地の周辺は、富山西ICへの近接性を活かした工業地区とし、運輸業や卸売業などの集積を図ります。</li> </ul>
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいの風とやま鉄道線以南、JR高山本線の南側の市街地は、住宅専用地区とし、学生アパートなどの集合住宅を含む良好な低中層住宅地を形成します。</li> <li>・西富山駅西側では、寺町けやき台団地など戸建住宅を主体とした住宅地とし、良好な住環境を形成します。</li> <li>・あいの風とやま鉄道線以北の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区とし、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地を形成します。</li> <li>・公共交通が便利な圏域では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実とあわせて、居住の誘導を図ります。</li> <li>・空き地・空き家の適正な管理や有効活用などにより、安全・安心な住環境の形成に努めます。</li> </ul>
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地は、農業保全地域とし、虫食いの農地転用を抑制して、良好な農業・農村環境を保全するとともに、農業体験など、交流の場としての活用を検討します。</li> <li>・集落地域では、既存コミュニティを活かし、良好な生活環境の形成に努めます。</li> </ul>

#### ②交通体系の方針

##### 公共交通

- ・鉄軌道（JR高山本線、路面電車）の利便性向上と持続性の確保を図るため、ダイヤの改善、老朽化した施設・設備の更新や改良などを進めます。
- ・公共交通軸であるバス路線は、快適性の向上など機能強化を図るとともに、生活の足を確保するため、生活バス路線などの維持や機能確保に努めます。
- ・路面電車の停留場周辺では、シェアサイクルなどの身近な移動手段により、移動環境の充実を図ります。
- ・西富山駅周辺では、アクセス道路の整備などによる、利用環境の改善や利用圏域の拡大を図ります。

## 道路

- ・都心地区や拠点とをつなぐ（都）金屋線の整備、西富山駅へのアクセス道路として（都）寺町線の整備を進めます。
- ・神通大橋（上流側）の更新や神通大橋（下流側）の大規模修繕など、橋梁をはじめとした道路構造物の適正な維持管理・更新を推進します。

### ③その他の都市施設・機能の方針

#### 公園・緑地、レクリエーション

- ・歴史・文化の学習の場である富山市民俗民芸村の充実や、呉羽丘陵フットパス連絡橋を活かした周遊散策路整備などにより、呉羽丘陵の森林を活かしたレクリエーションの場の形成を図ります。
- ・市民の憩いの場である神通川緑地を核に、スポーツ・レクリエーションの場の形成を図ります。

#### 河川・水路、上水道、下水道

- ・住宅地内を流れる馬渡川は、自然や生態系に配慮した水辺景観に配慮しつつ、治水機能の向上を図ります。
- ・神通川左岸では、堤防の強化を図るため、堤防整備事業を進めます。
- ・避難所などに接続する上下水道施設の耐震化を推進します。
- ・神明ポンプ・ゲート場などにおいて、下水道施設の老朽化対策を推進します。
- ・土地利用に即した下水道整備のあり方を検討します。
- ・市民が安全に生活できるよう畑中排水区において浸水対策を推進します。

### ④都市の質に関する方針

#### 環境、景観、ユニバーサルデザイン

- ・公共交通が便利な圏域を中心に、誰もが徒歩や公共交通で移動しやすい生活環境の形成を目指し、公共交通機関・道路・施設間での移動の連続性の確保や公共施設などでのバリアフリー化を推進するとともに、環境に優しいライフスタイルへの転換を市民に促します。
- ・呉羽丘陵及びその周辺は、秩序ある土地利用を図るとともに、建物や屋外広告物の誘導と緑地の適切な維持・管理を通じて、良好な緑地景観の保全を図ります。

#### 防災・防犯

- ・呉羽丘陵周辺の土砂災害や洪水・雨水出水の危険性の高い箇所では、そのリスクに応じて、居住誘導や新市街地の整備の抑制、災害リスク情報の周知・啓発など、被害を回避・軽減するための取組を進めます。
- ・居住環境の維持・向上を図るため、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

# ■まちづくり方針図

